



## 長崎っ子の心を見つめる教育週間について

先週開催した「長崎っ子の心を見つめる」教育週間には多数の方にご来校いただき、土曜授業だけでも全校で173世帯（生徒名簿でのカウントです。ご家族を含めると200名以上の参加でした。）の方にご来校いただきました。ありがとうございました。今後も生徒の健やかな成長を見守っていただきますようお願いいたします。

7/6 土曜授業来校世帯数	1年生 78	2年生 48	3年生 47
---------------	--------	--------	--------

### <校長講話> 初日(7月1日)の全校集会にて

全校生徒の皆さん、おはようございます。早速ですが、2つ話をします。

1つ目は、なぜ、7月1日の朝から全校集会を行うのかということです。今から21年前の平成15年(西暦2003年)7月1日に、長崎市で4歳の男の子が、中学1年の男子生徒に殺害されるという事件が発生しました。また、翌年平成16年(西暦2004年)6月1日には、佐世保市で小学6年生の女の子が、同級生の女子児童に殺害されるという事件が発生しました。どちらも、大変痛ましく悲しい出来事であると同時に、加害者が中学生、小学生ということで、世間は大きな衝撃を受けました。2年連続して長崎県で発生したこれらの事件を風化させず、学校で命の教育を充実させるために、長崎県内全ての公立小学校、中学校、高校、特別支援学校で「長崎っ子の心を見つめる」教育週間を設定し、教育活動を公開しています。大村市では7月1日を含む1週間を教育週間として学校を開放して、保護者や地域の方に授業を見ていただいたり、清掃活動に参加していただいたりします。この教育週間が始まるので、今、全校集会を開いているのです。

2つ目は、全校生徒の皆さんへのお願いです。それは「ことば」についてです。皆さんが友達との会話の中で「死ね」とか「殺す」と言っているのが時々耳に入ってきます。非常に残念です。僕はこの世の中で最悪の言葉だと思います。これらの言葉は、今後一切使わないでください。今、「そんならいいやろ」とか「そこまで厳しくなくても」と思った人がいたら、考え方を変えてください。20年前の悲劇を繰り返さないためには、私たちは一人一人ができる小さなことをしっかりとやるのが大切です。その1つが言葉遣いだと思うのです。

今後、各教科の授業や平和学習、総合的な学習の時間で、命について学び、考える機会がたくさんありますが、今週をそのきっかけとして真剣に過ごしてほしいと思います。命についても全校生徒の皆さんが、「考動」を意識して、自分で考え 正しく動くことを願って話を終わります。

## 8月の行事予定表 (※予定変更の際はtetoru等でお知らせします)

日	曜	行 事	給食	日	曜	行 事	給食
1	木	二者面談・三者面談 (8/2まで)	-	16	金	学校閉庁日 (18日まで)	-
2	金		-	17	土		
3	土			18	日		
4	日			19	月		-
5	月		-	20	火		-
6	火		-	21	水		-
7	水		-	22	木		-
8	木		-	23	金		-
9	金	登校日 (県民祈りの日)	-	24	土		
10	土	学校閉庁日 (8/18まで)		25	日		
11	日	山の日		26	月		-
12	月	振替休日		27	火	2学期始業式	×
13	火		-	28	水	実力テスト① 全校・学級専門委員会	○
14	水		-	29	木	実力テスト②	○
15	木		-	30	金	学級専門委員会	○
				31	土		

**考動する生徒** 西村侑利也さん (3-3) 休み時間に男子トイレの乱れたスリッパをそっと並べていました。  
※ 今後も、「自分で考え 正しく行動する生徒」を紹介します。